武蔵村山市立小中一貫校　村山学園

学園だより

令和８年度４月号
統括校長　飯星　健司
令和８年４月１０日

【教育目標】　人にやさしく　自分に強く　英知を磨く村山の子

多くを学び、自分を成長させよう

統括校長　飯星　健司

令和８年度が始まりました。校庭の桜や木々の新芽、春の息吹が児童・生徒たちに新たなスタートを応援してくれています。お子様の進級・入学おめでとうございます。

今年度、村山学園の統括校長に着任した飯星健司と申します。隣の第三中学校から異動してきました。また、統括副校長、小学部副校長も変わりました。統括副校長に第八小学校から東（ひがし）高央先生を、小学部副校長に第三小学校から田島照久先生を迎えました。この他にも多く教職員が異動してきました。また、新規採用で今年度からフレッシュな教員も迎えました。新たなメンバーで児童・生徒の健全育成のために教職員一同、一丸となって進めていきますので、御支援、御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

村山学園の桜

新年度のスタートにあたり、本校の教育目標、学校経営方針をお知らせいたします。

「教育目標」

人にやさしく、自分に強く、英知を磨く　村山の子

「村山学園が目指す児童・生徒像」

(1)自ら学ぶことができ、基礎的・基本的な学力が身に付いていている子
(2)自分で考えることができる子
(3)自分で判断することができる子

また、上記教育目標を実現するための具体策をお示しします。御支援・御協力よろしくお願いします。

「学校経営の具体策」

(1)人権尊重教育に基づき、児童・生徒のいじめ防止を図る。
(2)生命を尊重する心を育む道徳教育の推進を図る。
(3)「基礎的・基本的な学力の確実な定着と向上」を最重要課題とする。以下を徹底する。
①授業の流れを定型化する。②国語・算数（数学）の宿題を毎日出す。③読む・書く・計算の技能を高める。④読書をする。⑤新出漢字を確実に習得させる。⑥国語辞典を活用する力を付ける。⑦掛け算九九を確実に定着させる。⑧模範授業や研修など、教員の指導力を高める。⑨家庭学習の充実を図る（小:学年×10 分、中:学年×1 時間）。
(4)心身の健康推進を図る。体力テストの結果も活用し、体力向上を図る。
(5)国際理解教育は、グローバル化に対応でき、国際社会で活躍できる人材としての素養を養う。日本語学級に通級する児童の日本語教育を推進する。
(6)特別な教育支援や発達支援が必要な児童・生徒に「個に応じた」連続性のある適切な指導と必要な支援を行う。校内委員会を中心に組織全体で支援する。「知的障害固定学級」では授業改善を図る。「自閉症・情緒障害固定学級」では特に自立活動の指導に重点をおく。
(7)安全・安心を基盤とした組織的な生活指導の推進と危機管理の徹底を図る。初期対応と報告・連絡・相談・確認を徹底し、課題は全教職員で共有する。
(8)ＧＩＧＡスクールによる一人１台端末や各種ＩＣＴ機器及びデジタル教科書、デジタル教材の有効活用を図り、教育ＤＸに取り組む。タブレット端末を活用し、児童・生徒一人一人に合った個別最適な学びを進める。
①１年生からローマ字タイピングを習得させる。②生成 AI や SNS の正しい扱いや使い方を含む情報モラル教育を強化し、「してはいけないことを実行しない姿勢」を育てる。
(9)意図的・計画的なＯＪＴにより若手教員の育成、組織の教育力向上を図る。
(10)業務の精選・効率化を通して働き方改革を進め、教職員の意識改革に取り組む。